ＯＢ会だより

第 60 号

〈発　行〉
京都外国語大学
能楽部OB会広報部

第五十八回外大能　開催のお知らせ

広報部　栗山　藍

コロナ禍も落ち着きを見せ始め、世間は活気を取り戻しつつあります。外大能楽部もようやく 活動できるようになってきました。皆さまお忙しいことと思いますが、お時間ありましたら、現役生の活躍を、是非見にいらしてください。

日時：令和五年十二月二日（土）十三時始め
会場：河村能舞台
演目：現役仕舞
「鶴亀」「放下僧小歌」「岩船」「玉之段」
卒業生仕舞
「高砂」「巴」「屋島」「野守」「野宮」「藤戸」
詳しくは四ページの番組紹介をご覧ください。

今号の注目記事

◆外大能開催のお知らせ／令和五年謡初め・ゆかた会が開催…1P
◆夏合宿レポート・ゆかた会レポート…2P
◆連盟の活動も復活レポート…3P　◆外大能番組紹介／橋本忠樹先生の活動紹介／会計局からのお願い／編集後記…4P

今年も現役部員と一緒に謡初め、ゆかた会を無事に開催

広報部　栗山　藍

今年の謡初めは、二月十九日、能楽部の部室にて開催されました。現役の素謡は「鶴亀」、「橋弁慶」。ＯＢの素謡は「猩々」でした。現代らしく、リモートでの参加も可能となり、遠方にお住まいの卒業生にも能楽部との繋がりを感じていただけたことと思います。


謡初め 始まりのご挨拶


新年会 池田先輩のご挨拶


謡初め 集合写真

そして、九月十六日、ゆかた会が真謡会館で開催されました。素謡、仕舞、地謡と、新入生にとっては初めてのことばかりで、かなり緊張されたのではないでしょうか。お能には面白い物語がたくさんあります。これからチャレンジしていってもらいたいですね。ゆかた会のレポートは次ページにご紹介しています。お楽しみください。

令和五年ゆかた会
～現役部員と共に～

広報部　塚田　智恵

八月四日、五日、六日に京都外国語大学の部室にて夏合宿パート1が行われました。ゆかた会に向けた練習として、素謡の「橋弁慶」「猩々」そして各自の仕舞を島谷先輩に教えて頂きました。

一回生は仕舞「鶴亀」「熊野」「吉野天人」を、ゆかた会で初めて披露するため、型を一生懸命覚えていました。二回生の仕舞「敦盛」「経正」は、一度翡翠の会で披露したものだったので、





一から型を覚える必要はなかったのですが、より細いところを先輩に教えてもらい、仕上げていました。素謡のお稽古では、最初セリフ部分の独特な謡い方や、難しい謡回しに苦労していたのですが、最後の日には、一通り自分たちで謡えるようになり、一回生は仕舞も最後まで舞えるようになりました。

夏合宿パート2は、九月二日、四日、八日、十四日に行われ、ゆかた会へ向けて、最後まで頑張って練習しました。最終日の十四日には浴衣の着付け教室も行われ、島谷先輩から、浴衣の着方や帯の結び方を習いました。帯の結び方はみんな苦戦していましたが、どうしたらきれいなリボンが作れるかポイントを教えてもらい、本番のゆかた会では、みんな一人で着ることが出来ました。



ゆかた会当日は、各自の仕舞も素謡も、この強化練習の成果を発揮することができました。














連盟の活動も復活!!

広報部　橋口莉奈



伏見区民文化祭に出演しました

コロナ禍での制限も緩和され、京都学生能楽連盟の活動も再開しました。外大からも人数は少ないものの、できる限りで参加しています。OB会からも当日の着付けや撮影などのお手伝いをしましたので、活動の様子をご報告します。

●伏見区民文化祭出演

昨年十月、京都学生能楽連盟へ出演依頼があり、御香宮神社で催された伏見区民文化祭で仕舞を披露しました。各大学一番ずつ出し合い五番立てで構成され、外大からは初番目物『鶴亀』を出し、他大学の仕舞に地謡としても参加しました。外大能の準備を進めながらの出演となりましたが、能舞台に立つ機会が増え良い経験になったようでした。また、他大学の能楽部員さんとも交流でき、楽しそうに参加していたのがとても印象的でした。



伏見区民文化祭にて



伏見区民文化祭出演　仕舞「鶴亀」

●翡翠の会

今年七月二日(日)嘉祥閣能舞台にて、翡翠の会が開催されました。例年どおり五大学の能楽部が集まり、今年も無観客での開催となりました。

外大からは仕舞三番を出し、たくさんの学びを得た会になりました。部員から寄せられた感想を一部ご紹介します。

「あとでビデオを見返すと、すり足が疎かになっていると気づいた。舞台の上では目立つし、基礎的なこともしっかり練習しなければと改めて思った」

「地謡で、途中頭が真っ白になって次の謡いが出てこないことがあった。他の人に助けられたが、普段の練習では間違えたことがなかったので悔しかった」



翡翠の会にて





また、新入生連吟『鶴亀』には二名参加しました。一度にたくさんの仕舞を見る機会は初めてだったので、「あの曲がカッコよかった！」など印象に残ったものもあったようで、初めての翡翠の会を楽しんだようでした。

今回は留学生の部員も参加してもらい、仕舞『吉野天人』を舞いました。初めて紋付き袴を着て能舞台に立つ緊張もあったようですが、普段の練習通りに舞うことができ、「貴重な体験をさせてもらった。いただいた練習用扇も大事にします」と帰国前に話してくれました。

今年新たに留学生が入部し、外大能に参加します。春学期には短期の留学生が部室へ見学に来たこともあり、熱心に日本文化を学ぶ様子を見て、他の部員も良い刺激を受けたようです。まだ二・二回生のみの部活ですが、徐々にクラブらしさをとりもどしつつあるように感じました。

Twitterはこちら

KUFS_NOH
Instagramはこちら

第五十八回 外大能番組紹介

十二月二日(土)　午後一時始メ　於 河村能舞台

鶴亀	仕舞	野老山 紗良
放下僧 小歌		伊藤 楓
岩船		中村 仁美
玉之段		浮田 瑞紀
高砂		栗山 藍
巴		塚田 智恵
屋島		増田 勝彦
野守		井上 真一
	素謡	
	子方	伊藤 楓
	トモ	中村 仁美
		浮田 瑞紀
橋弁慶	仕舞	
野宮		福井 玲子
藤戸		島谷 直見
	ＯＢ連吟	
紅葉狩		ＯＢ・ＯＧ ★
	番外仕舞	
猩々		橋本 忠樹

★ 多数のご参加をお待ちしています。足袋をご持参ください。

能楽部講師 橋本忠樹先生 公演予定とSNSのご紹介

橋本忠樹先生 令和6年度 公演ご案内

◇令和6年1月14日(日)「京都観世会例会」
能「野守」シテ 橋本忠樹

◇令和6年5月4日(土・祝)「橋本聲吟社春季大会」

◇令和6年7月28日(日)「片山定期能」
能「国栖　白頭」シテ 橋本忠樹、子方 橋本和樹

要チェック　京都市公式YouTube「能楽 橋弁慶」で和樹くんと共演
→https://www.youtube.com/watch?v=2XlgnGmt7aY&t=311s

インスタグラムは
こちらから
↓
TADAKIHASHIMOTO



観世流能楽師 橋本忠樹の京あるき
【掲載ウエブサイト】街内（まちなか）能ライブ
http://machinakaart.wixsite.com/nohlive

会計局より「ＯＢ会費について」のお願い

この三年間、新型コロナウィルスの影響で能楽部の活動がほぼ停止状態となり、ＯＢ会費の納入につきまして見合わせてまいりました。

昨年、新入部員を迎えてようやく外大能が再開、そして今年も新入部員を迎えて部員一同外大能に向けて活動しています。

つきましては、外大能開催の為に、ＯＢ会費納入のご協力を心よりお願い申し上げます。

◎一般会員　８千円
◎夫婦会員　１万２千円

［振込先］
☆郵便口座
００２８０－１－５２０７６
☆加入者名
京都外国語大学能楽部ＯＢ会

編集後記

ＯＢ会だよりは今号で記念すべき60号を迎えました。今年も発行にあたりご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

校友会のホームページで、第1号含めアーカイブをご覧いただくことができます。この機会にぜひご覧下さい。

今後も皆さまに楽しく読んでいただけるＯＢ会だよりを目指して参ります。よろしくお願い致します。

《ＯＢ会だより第60号》
◎編集責任者　唐木啓子
☆編集委員　藤原敏起・伊藤智代
鴨川愛子・栗山　藍
塚田智恵・橋口莉奈
◎発行責任者　島谷直見